

**製品名: リン酸化 TGFβ 受容体 II (Ser225) ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe87119**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	人間
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000
分子量	Calculated MW:65 kDa; Observed MW:85 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	Phospho-TGF beta Receptor II
別名	AAT3; FAA3; LDS2; MFS2; RIIC; LDS1B; LDS2B; TAAD2; TGFR-2; TGFbeta-RII
遺伝子 ID	7048
SwissProt ID	P37173
免疫原	ヒト TGFβ 受容体 II の Ser225 周囲の残基に対応する合成リン酸化ペプチド

**背景**

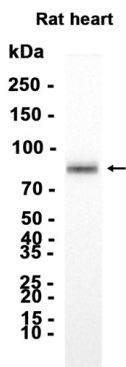
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、タンパク質キナーゼドメインを有する膜貫通タンパク質であり、TGF-β 受容体 1 型

とヘテロ二量体複合体を形成し、TGF- $\beta$ に結合します。この受容体/リガンド複合体はタンパク質をリン酸化した後、核内に移行し、細胞増殖、細胞周期停止、創傷治癒、免疫抑制、腫瘍形成に関連する遺伝子の転写を制御します。この遺伝子の変異は、マルファン症候群、ロイス・ダイツ大動脈瘤症候群、そして様々な腫瘍の発生と関連していることが知られています。異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが特徴付けられています。[RefSeq 提供、2017年8月]

## 研究分野

-

## 画像データ



1:2000 のホスホ TGF ベータ受容体 II (Ser225) ウサギモノクローナル抗体を使用したラット心臓組織抽出物のウエスタンブロット分析。